

Reclothes
Cup 2023
BOOK-OFF
FASHION

BOOKOFF
CORPORATION LTD

RECLOTHES CUP

2024

開催のご案内

国内最大級のアップサイクル デザインコンテスト Reclothes Cup とは

ブックオフが取り扱う商材の中から『古着』に焦点を当てたサステナブルな取り組みです。
自由な発想で古着の価値を価値を高め、人を感動させワクワクするモノへと生まれ変わらせる。
そこからさらなるモノの循環を生み出したい。そんな思いから生まれたコンテストです。



なぜブックオフがコンテストを開催するのか

ブックオフは『本』だけではなく、服やスポーツ用品など様々なものをリユースという形で循環させ、モノの寿命を延ばすことを事業の根幹としている企業です。

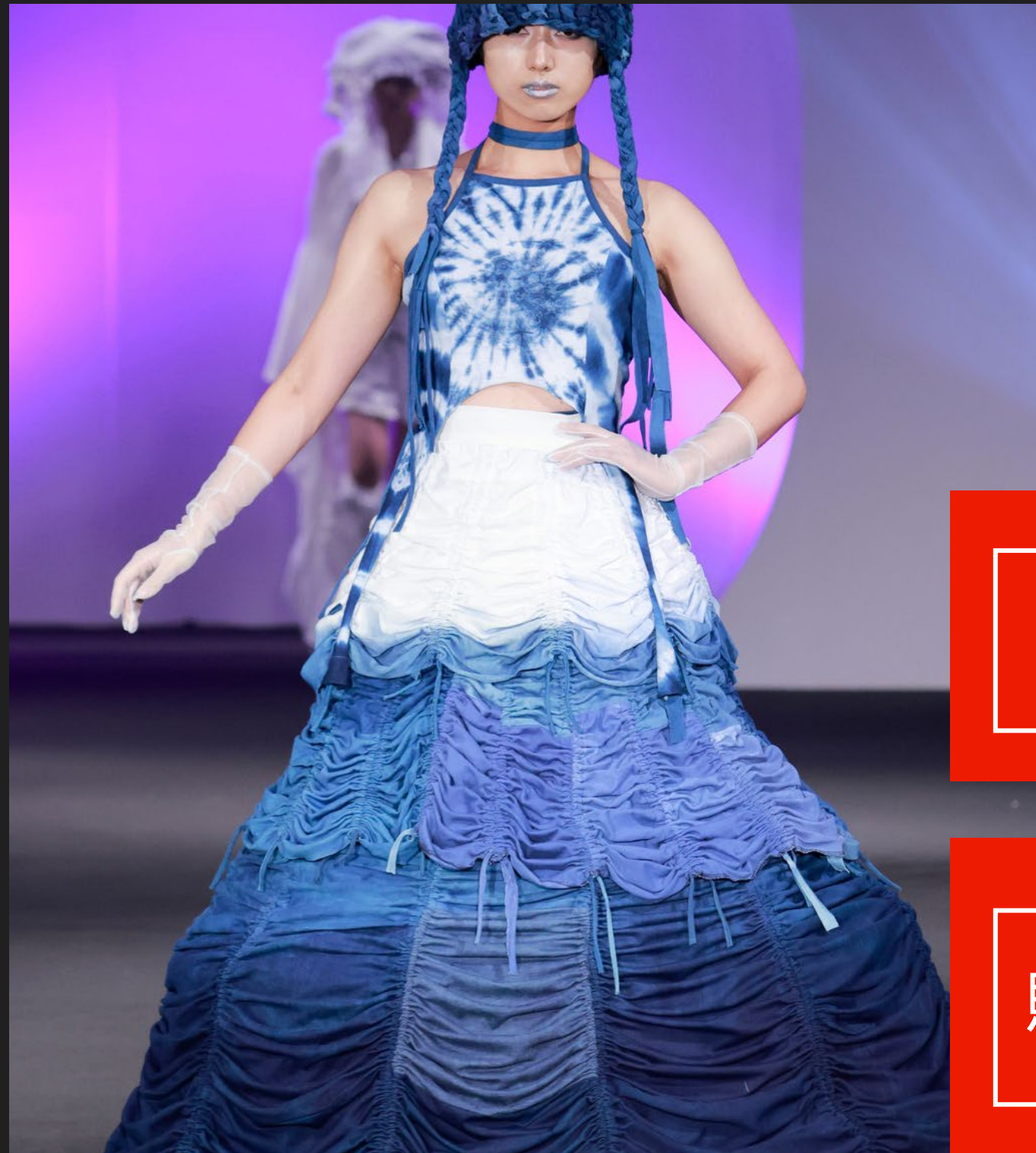
しかし、ブックオフで『服』を取り扱っていることはあまり人々に知られていません。そこで、この取り組みを通して、服が好きな人たちにブックオフは『本』以外のモノの取り扱いをしていることを知ってもらい、今まで以上にモノを循環させることに貢献できるようになりたいと考えています。

服の認知度が低いとはいえ、ブックオフでは年間1000万着以上の服を取り扱っており、その中には役目を終えていく服もたくさんあります。

この服をどうにかもう一度人々の手に届けることはできないか、人々をワクワクさせることはできないかと考えていた時に、ブックオフでアルバイトをしていた服飾専門学校に通う学生を通して、コロナ渦で作品を発表するコンテストやファッションショーがどんどん減っている事を知りました。

熱い思いをもって作品制作に取り組む学生のやり場を増やし応援することができ、ブックオフの課題解決にもなるととても良いチャンスになると考え、コンテストの開催を決めました！





応募部門

ブックオフで役目を終えた服にアップサイクルで新たな付加価値を付け、人々をわくわくさせたり、感動させられる作品を募集します。

デザイン

テーマを自由に考え、自分自身が想うアップサイクルを形にしてください。個性的でファッションの新しい可能性と未来を感じる作品を募集します！

販売

【MA-1】の制作を行っていただきます。
商品のコンセプト、ターゲット、再現性を考え、実際に販売可能で人々から欲しい、着てみたいと思われる作品を募集します！

デザイン部門

テーマは自由です。
自身が考えるアップサイクルを形にし、なおかつ
個性的でファッションの新しい可能性と未来を感じ
る作品を募集します。

参加資格

- ・ 高校生以上の学生
- ・ 着脱可能な縫製された服を制作できること

作品の条件

- ・ ブックオフの古着を使用すること
- ・ トータルコーディネートで準備をすること
- ・ AIでのデザイン画作成はNG

審査のポイント

デザイン性だけではなく、古着をどのくらい無駄なく
使い切ることができているか、古着の使用方法、
素材を選んだ理由などが審査のポイントとなります。



【デザイン部門】制作の条件

- **ブックオフの古着を使用すること**
使用できる古着は、1,500円未満のメンズ、レディース、キッズの服と1,500円未満の靴、バッグ、小物類(スカーフや帽子など)
- **ブックオフの古着以外の素材も使用可**
完成した作品を長く着られるものにするために必要な新品の素材は使用可
- **縫製されていること、着脱可能である事**
ショーでモデルが着用する為、着用できないものはNG
- **既存の商品にペイントのみでの提出はNG**
ペイントは洗濯しても落ちない物をを使用すること
ペイントしたものを縫製すること
- **ブランドロゴ、ロゴマーク、キャラクターの使用は不可**
- **使用した素材はすべて写真に残し提出すること**
提出フォーマットはReclothes Cup公式サイトよりDL
- **作品はトータルコーディネートで準備すること**
靴の準備は必須ではありませんが、ショー開催にあたり靴が必要となる為、弊社で靴を準備する場合、希望通りの準備は出来かねます

販売部門

テーマは【MA - 1】

コンセプト、ターゲット、再現性を深く考え、実際に販売できるものを製作してください。

人々が欲しい、着てみたいと思う作品を募集します。

参加資格

学生から一般の方まで自由にご参加いただけます

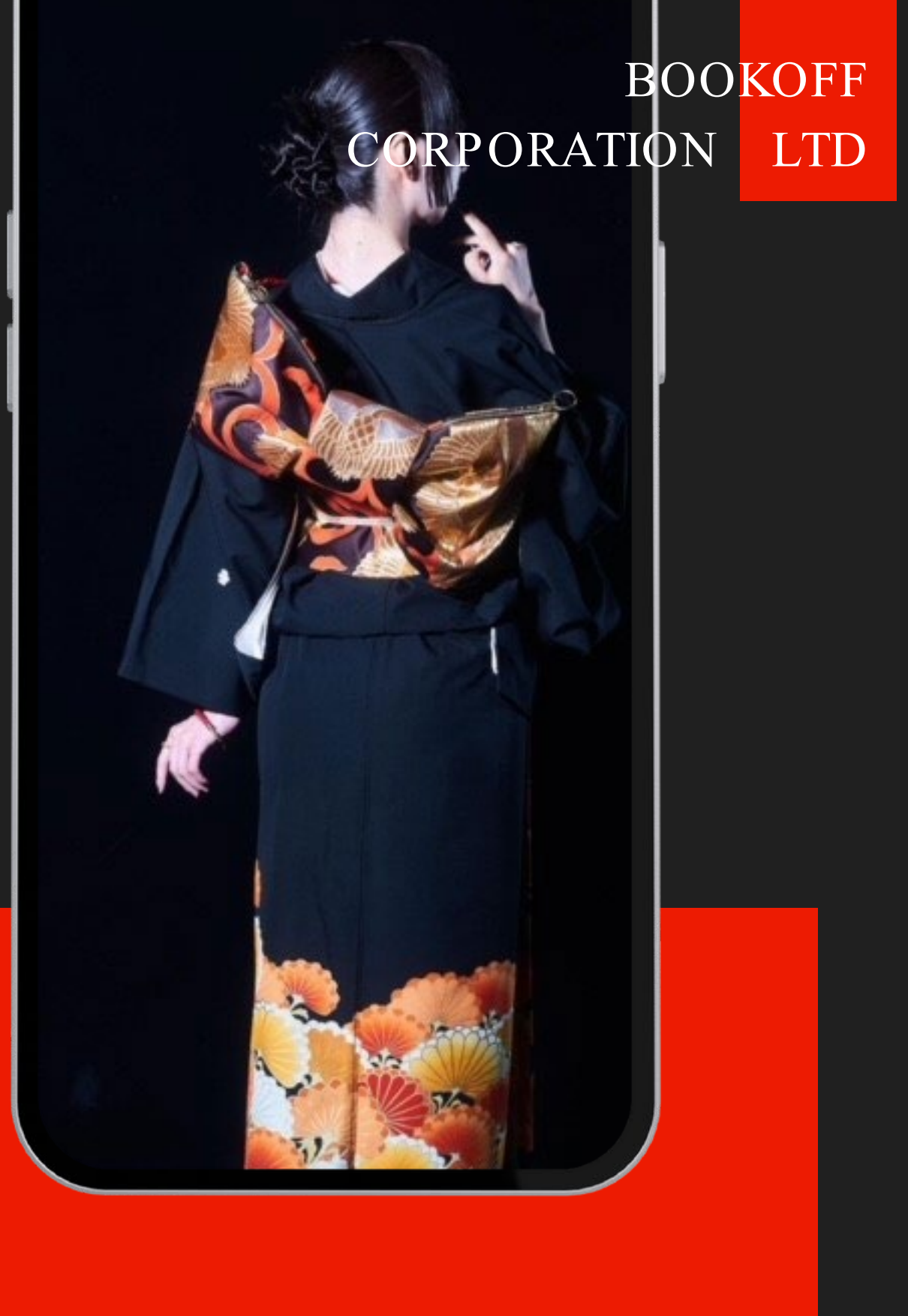
※自分のブランドを始めて3年以上経過している方は不可

作品の条件

- ・ブックオフの古着を使用すること
- ・デザインの違う2着のMA-1を製作すること
- ・AIでのデザイン画作成はNG

審査のポイント

デザイン性だけではなく、素材に1点物の古着を使っているのも、商品化する際に、どう再現性を高めようと考えられて作られているかが審査のポイントになります。



【販売部門】 制作の条件

- **ブックオフの古着を使用すること**
使用できる古着は、1,500円未満のメンズ、レディース、キッズの服と1,500円未満の靴、バッグ、小物類(スカーフや帽子など)
- **ブックオフの古着以外の素材も使用可**
完成した作品を長く着られるものにするために必要な新品の素材は使用可
- **縫製されていること、着脱可能である事**
受賞時にモデルが着用する為、着脱できないものはNG
- **既存の商品にペイントのみでの提出はNG**
ペイントは洗濯しても落ちない物をを使用すること
ペイントしたものを縫製していること
- **ブランドロゴ、ロゴマーク、キャラクターの使用は不可**
- **使用した素材はすべて写真に残し提出すること**
提出フォーマットはReclothes Cup公式サイトよりDL

スケジュール

エントリー開始

2024年4月1日(月)

Reclothes Cup 公式サイトよりエントリー

公式サイトURL <https://reclothes-cup.jp/>

※登録完了後、指定店舗にてコンテストに使用する商品をお選びいただけます

デザイン画提出締切

2024年6月15日(土)

デザイン部門は、□ デザイン画 □ エントリーシート (公式サイトよりDL)

販売部門は、□□ と □ 販売企画書 (公式サイトよりDL)を

Reclothes Cup 運営事務局まで郵送にて提出 ※当日消印有効

一次審査結果発表

2024年7月8日(月)

Reclothes Cup 公式サイトにて一次審査の結果を発表します

※通過者には運営事務局より個別にもご連絡いたします

7月8日(月) 12時より指定店舗にて、事前に選択済みの商品をお受け取り頂けます

作品提出締切

2024年9月30日(月)

完成した作品を Reclothes Cup 運営事務局まで提出

※9月30日(月)までに発送を完了すること

最終審査会

2024年12月1日(日)

最終審査はファッションショー形式の公開審査会となります

※ファッションショーはデザイン部門のみとなります

スケジュール

コンテスト説明会
4月15日(月)

ZOOMでの合同説明会を開催いたします
※録画を公式サイトにてご確認ください
専用URL→

学校単位説明会

オンラインでの個別説明会を開催いたします
※ご希望の場合は運営事務局までご連絡ください

作品製作説明会
7月12日(金)

デザイン画の一次審査を通過した方向けに、作品制作に関する説明会を開催
いたします
※録画は一次審査通過者の皆様へ限定公開いたします

Q & A

Q: 指定店舗とはどこですか？

A: 公式サイトより店舗一覧がDLできます。リストに記載のある店舗はご利用頂けます。 ※店舗に電話をしてからご来店ください

Q: 近くに店舗がない場合は？

A: Reclthes Cup 運営事務局までご連絡ください。

Q: 店頭で選んだ商品は結果発表まで保管されますか？

A: 一次審査結果発表まで、店舗で保管いたします。

Q: 商品は無償提供ですか？

A: 一次審査を通過された方には1,500円未満のブックオフの対象商品を無償で提供いたします。

Q: 選んだ商品の交換はできますか？

A: 作品が完成して提出するまでは何度でも交換可能です。 ※手を加えた商品の交換はできません

Q: 作品の発送方法に指定はありますか？

A: 発送業者の指定はありません。必ず1作品ごとに箱に入れてお送りください。

Q: 作品は返却されますか？

A: 提出された作品は返却されませんが作品の貸し出しは可能です。 ※コーディネートのための私物は後日返却いたします

Q: チームでのエントリーは可能ですか？

A: 可能です。代表者の方がエントリーをお願いいたします。

Q: 洋服、靴、バッグ以外の商品は使用できますか？

A: 1,500円未満の着物、帯、スポーツウェアをご利用頂けます。 ※ブックオフの対象商品は無償提供

Q: 他のコンテストとのダブルエントリーは可能ですか？

A: 学内コンテスト以外とのダブルエントリーは不可となります。



デザイン部門 グランプリ

賞金 30万円

副賞 『装苑』に掲載

準グランプリ 賞金 10万円

ブックオフ賞 賞金 5万円



販売部門

賞金 10万円

グランプリ

副賞 NEW ENERGY 合同出展

NEWENERGY出展に向けて、審査員からのアドバイス会を開催いたします

審査員

相澤 樹様



審査員長

兎島 幹規様

1992年 専修大学経済学部経済学科卒業。同年 世界文化社入社 Begin編集部配属。2004年 Begin編集長就任 2009年MEN'S EX編集長就任。

2014年10月 文化学園 文化出版局 出版事業部長 兼 装苑編集長就任。香蘭ファッションデザイン専門学校その他、文化服装学院、大阪文化服装学院、名古屋ファッション専門学校、中部ファッション専門学校のファッションコンテストの審査員を、毎日ファッション大賞にて審査員を務める。

秋田公立美術大学客員教授。

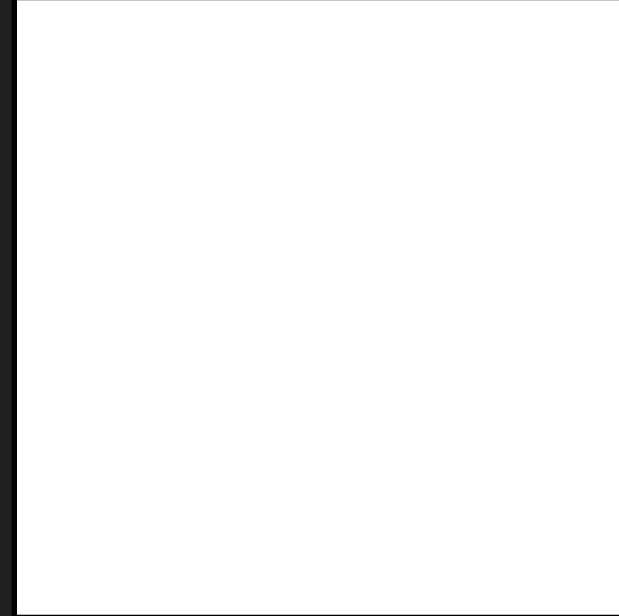
2005年よりフリーのスタイリストとして活動開始。雑誌でのスタイリングをはじめアーティスト、広告、CMなどジャンルを問わず活躍中。

衣装デザイン、エディトリアルディレクション、空間プロデュースなど多方面での活動を行っている。

2021年に東京で開催されたパラリンピック閉会式では衣装ディレクターとして参加。2017年ラッキースター所属



審査員



審査員

Coming soon.....

審査員

ブックオフグループホールディングス株式会社

代表取締役社長 堀内 康隆

取締役 森 葉子

審査員

RECLOTHES CUP運営事務局

エントリーシート
作品の発送先

住所

〒810-0001

福岡県福岡市中央区天神4丁目3-8

ミーナ天神7階

BOOKOFF SUPER BAZAAR ミーナ天神

『Reclothes Cup運営事務局』宛

お問い合わせはメールにて承ります

re_clothes_cup@info.bookoff.co.jp

担当者：山田 美有

公式サイト：https://reclothes_cup.jp/

公式Instagram：@reclothes_cup



最終審査会

2024年12月1日(日)

会場

福岡国際会議場 多目的ホール

〒812-0032

福岡県福岡市博多区石城町2-1

<https://www.marinemesse.or.jp/congress/>



FUKUOKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER

デザイン部門 グランプリ

文化服装学院

山口 空叶夢さん

『付喪神』

廃棄予定だったものに手を加え、付加価値を付ける考え方が、長年使われたものに精霊や靈魂が宿るといふ日本に伝わる『付喪神』伝説を彷彿とさせた。ブックオフの古着を使って、古着に宿る付喪神を表現。服を少しも無駄にすることなく使用し制作した、50着ものお洋服の魂がこもった作品です。

デザイン部門 準グランプリ

大阪文化服装学院

川口 智加さん

『Catalyst 』

外国人が桜の写真を撮影している姿を見て、日本の素敵なところを改めて考えるきっかけに。普段、当たり前のように過ごしている日常の中に溢れている『美しいもの』に気がつくことで、さらに充実した日々を送って欲しいとの願いを込めて制作された作品です。

デザイン部門 BOOKOFF賞

文化服装学院

中岡 大智さん

『Fractal』

洋服の価値をフラットに考え、どんな服も輝けるようなデザインを目指した作品。着られる期間が短く、服としての活躍の機会が少ない子供服に焦点をあて、素材として使用。多様な柄を少しずつ使用するデザインの為、子供服でも無駄なく使用することができ、寿命の短い子供服に新たな命を与えることができた作品です。

デザイン部門 審査員特別賞

大村美容ファッション専門学校
久富 花奈さん
『富士山』

ブックオフで黄ばみや汚れが目立つ洋服を発見。どうすればこういったお洋服をよみがえらせることができるか。思いついたのが『藍染』でした。藍染には汚れを目立たなくするだけでなく、清臭効果や最近増殖抑制の効果もあります。藍染の藍色が朝焼けの富士山にとっても似ている為、富士山をテーマに制作された作品です。

デザイン部門 審査員特別賞

文化服装学院

並木 カ也さん

『Communication 』

古着と人の出会い、コミュニケーションには共通点があると考え、古着とコミュニケーションのエネルギーに魅力を感じて、古着を使用した作品で表現。異なる素材をした古着を解体しパッチワークしています。6通りの着用パターンがあり、さまざまなシルエットを楽しむことができる作品です。

販売部門 販売デザイン賞

窪田 里咲さん
『BACK BUG』

大量に安く売られている着物や帯を見たときに、日本人として危機感を覚えたのがきっかけで制作した作品。もとは何十万もするような日本伝統の着物が、これからも発展していくことを願ってデザインしています。着物としてではなく、日常に取り入れやすくすることを目標に制作した作品です。



Model : Saki Nakashima

Styling : Miki Aizawa

Hair & makeup : Noboru Tomizawa

Photograph : Josui

『装苑』 2024年3月号掲載